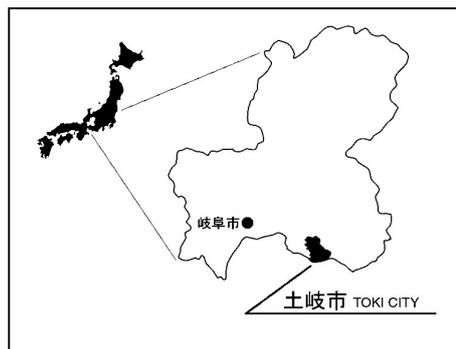


土岐市の概要

○位置

本市は、岐阜県の東南部に位置し、東は瑞浪市、西は多治見市及び可児市、南は愛知県瀬戸市、豊田市、北は御嵩町に接しています。名古屋市からは40 km圏にあり、鉄道で名古屋駅まで約40分の距離にあります。



○地勢

市域は、東西14.16 km、南北16.90 km、面積116.16 km²で、その約7割を丘陵地が占めています。地形は南に高く北に低く、特に南部は急峻な山地となっています。中央部の丘陵地は陶土採掘や窯業用燃料として樹木を伐採したため、昭和初期にははげ山と化していましたが、その後約50年間にわたり治山事業が続けられ、現在は緑豊かな丘陵が取り戻されています。市街地は、北部を横断する土岐川流域及び支流の肥田川、妻木川流域の平坦部を開け、中央丘陵を環状に取り巻くように形成されています。

極東	曾木町蘭仙	東経 137° 16' 58"	北緯 35° 19' 03"
極西	泉町久尻	東経 137° 08' 40"	北緯 35° 22' 34"
極南	鶴里町柿野	東経 137° 12' 00"	北緯 35° 15' 06"
極北	泉町定林寺	東経 137° 11' 39"	北緯 35° 24' 14"
市役所の位置	土岐津町土岐口	東経 137° 11' 00"	北緯 35° 21' 09"
総面積	116.16 km ²		
市制施行	昭和30年2月1日		

○気温

令和4年	気 温 (°C)			降 水 量 (mm)
	最 高	最 低	平 均	
1月	13.7	-6.5	1.5	32.0
2月	12.7	-5.9	2.3	42.0
3月	21.4	-4.1	8.9	85.5
4月	28.0	-0.2	15.4	121.0
5月	32.6	4.1	17.9	106.5
6月	37.5	9.6	23.0	105.5
7月	37.9	20.1	26.2	449.5
8月	36.9	19.1	26.9	317.0
9月	33.6	16.7	24.9	287.5
10月	29.7	2.8	16.4	64.5
11月	23.2	2.5	12.4	89.5
12月	15.8	-5.2	4.0	32.5

平均気温 15°C前後、温かな気候であり、年間降水量は1,730 mm程度、夏季の降水量は多く、降雪は少なくなっています。

資料＝土岐市統計書

○人口・世帯数の推移

本市の人口は、平成7年には66,620人でしたが、それ以降は減少傾向にあります。人口動態を見ますと、平成11年以降は死亡者が出生者を上回る「自然減」、平成17年以降は転出者が転入者を上回る「社会減」となり、人口減少が進んでいます。

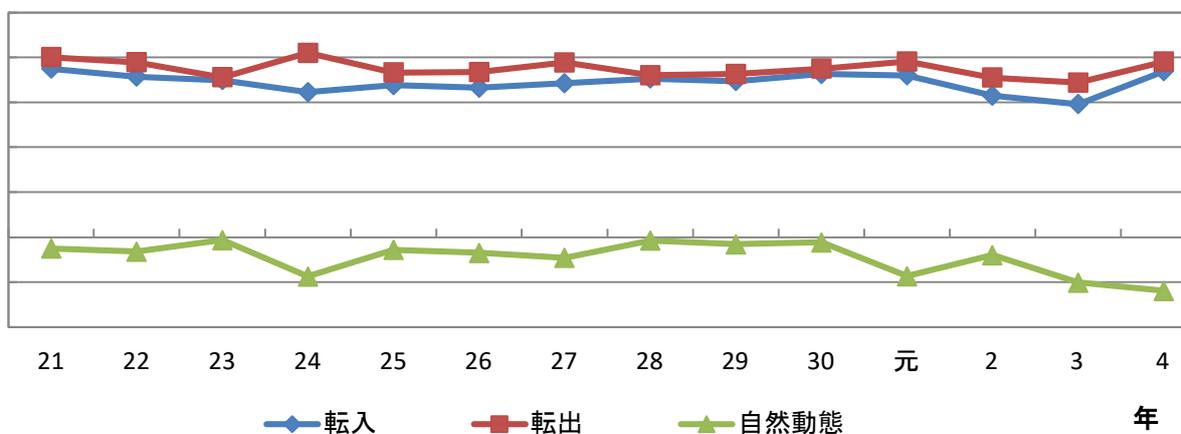
各年1月1日現在

年次	世帯数	人口(人)	男	女
1965 (昭和40年)	13,201	55,038	28,734	30,304
1975 (昭和50年)	15,832	63,324	30,784	32,540
1985 (昭和60年)	17,189	66,041	32,316	33,725
1995 (平成7年)	19,961	66,620	32,476	34,144
2000 (平成12年)	20,768	65,171	30,720	33,451
2005 (平成17年)	21,924	64,231	31,259	32,972
2010 (平成22年)	23,060	62,769	30,397	32,372
2015 (平成27年)	23,824	60,401	29,255	31,146
2020 (令和2年)	24,636	57,979	28,140	29,839
2021 (令和3年)	24,702	57,294	27,816	29,478
2022 (令和4年)	24,650	56,547	27,460	29,087

資料=住民基本台帳人口

自然動態	-598人	社会動態	-107人
出生	247人	転入	1,847人
死亡	845人	転出	1,954人

人口動態



資料=土岐市統計書

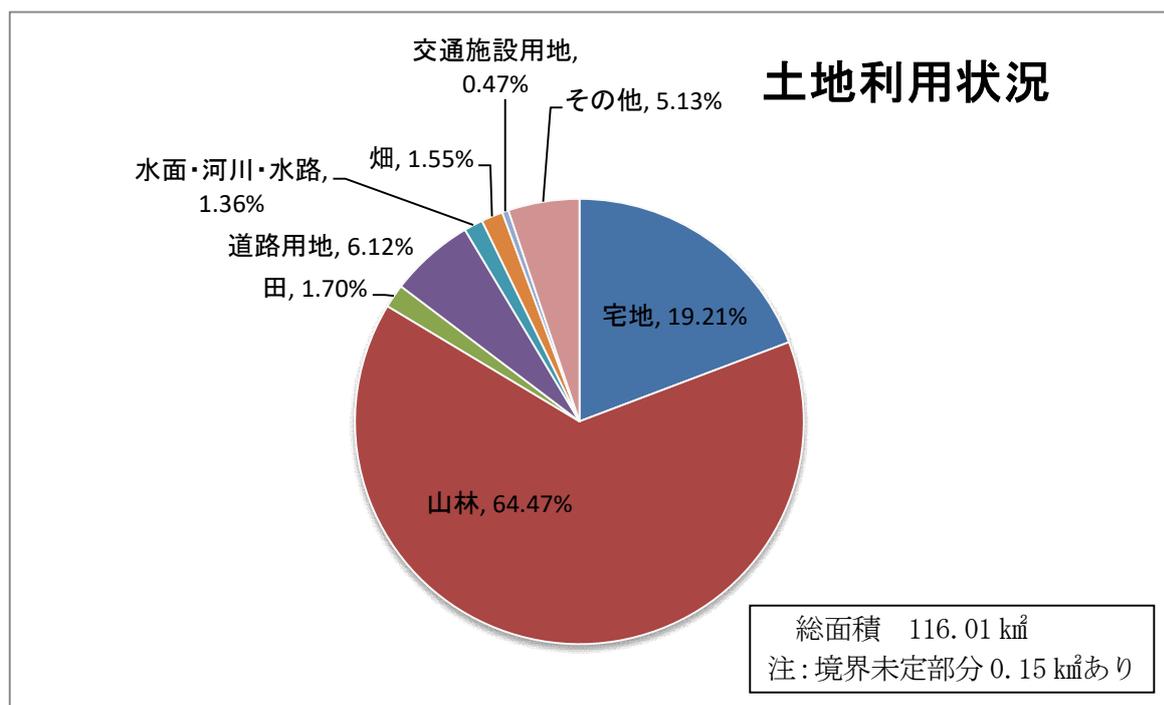
○産業別就業構造人口

本市は良質な陶土に恵まれ、古来から美濃焼の産地として栄えてきました。製造業に占める窯業・土石製品製造業の割合は、事業所数・従業員数のいずれにおいても全体の半数以上を占めています。しかし、近年はそのいずれも減少傾向にあります。

第1次産業 (農業)	第2次産業 (製造業・建設業)	第3次産業 (サービス業・卸・小売業等)	他に分類されない産業
0.8%	37.1%	60.5%	1.6%

資料＝国勢調査（令和2年）

○土地利用状況



資料＝都市計画課（基礎調査）